

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構の令和5事業年度等の評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた目標について、中期計画に沿った年度計画を着実に実施し、主務大臣による令和5年度の評価結果が「B」評定であったため、特段の反映を行っていない。
----------	--

2. 法人の運営及び予算への反映について

評価項目	令和5事業年度等の評価における主な指摘事項	令和6年度及び令和7年度の運営及び予算への反映状況
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	【I—1—⑤ 高速道路の更なる進化・改良】 <指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策> ○中長期的対策について、検討フローに基づき、引き続き、会社と連携して取り組んでいく必要がある。	○令和6年度 年度計画並びに業務運営に反映。 ○駐車マスの拡充等に要する土地の確保及び物流労働環境改善に向けたシャワー施設の整備を図ることを目的として、既存の道路敷地と会社敷地を有効活用するための実質的な土地交換の手続きを会社と連携して実施した。
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	【I—2—①②③ 会社との協定の締結等】 <指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策> ○管理費の計画値と実績値が乖離した場合、その要因を分析して適正性を確認し、協定変更に反映していく必要がある。	○令和6年度 年度計画並びに業務運営に反映。 ○令和5年度実績の交通量・収入の状況を踏まえて、当面の交通量・収入の見直し、金融政策の変更や直近の金利動向を踏まえて、将来金利（4%）までの調達金利を見直した。 ○当面の労務単価等上昇分を協定に反映し、会社の適切な業務執行の支援を行った。

国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	【Ⅰ—２—⑥ 効率的な債務返済のための資金調達】 ＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ ○支払利子の圧縮をより一層意識して、適切な調達年限の設定や調達手段の選定を工夫していく必要がある。	○令和６年度 年度計画並びに業務運営に反映。 ○令和６年度は、将来の長期的な資金収支の見通しに基づき、①効率的な債務返済の観点から資金調達需要の谷を埋めるとともに、②各年度の資金調達需要を平準化させるよう発行計画を策定することで将来の金利動向による支払利子への影響の軽減を図った。 また、金利上昇局面に際し、将来の資金収支の見通しとも整合するよう超長期債の発行を計画し、将来の借換え時における金利上昇リスクの軽減を図った。 上記に加え、令和７年度予算については、各会社とも調整・協力し従来よりも精緻な長期的な資金収支見通しや収入増加の見込を踏まえて要調達額を見積もったうえで、金利上昇を受けた市場の動向への対応を意図し、超長期年限を減らし中期年限を増やして全体の平均調達年限を短期化することで環境に応じた調達年限のバランスを柔軟に計画した。
国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	【Ⅰ—６ 道路整備特別措置法に基づく道路管理者の権限の代行その他の業務】 ＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ ○事務手続のあり方について継続的に点検を行い、道路管理事務の効率化や利用者の利便向上につながるよう取り組む必要がある。	○令和６年度 年度計画並びに業務運営に反映。 ○特殊車両通行許可における事務効率化については、引き続き、事務手続のあり方について継続的に点検を行うとともに、システム等を活用することにより、標準処理期間の短縮に向けた取組等を継続し、申請者の負担軽減と利便性向上を図った。

		○自動軸重計を活用した指導取締りについては、引き続き、車両制限令違反車両に対して警告書の発出等を行った。
業務運営の効率化に関する事項、財務内容の改善に関する事項及びその他業務運営に関する重要事項 その他の事項	【Ⅶ―9 人事に関する事項】 ＜指摘事項、業務運営上の課題及び改善方策＞ ○機構の業務に必要な能力・専門性の向上、ひいては機構の組織力向上につながる取組を充実させる必要がある。	○令和6年度 年度計画並びに業務運営に反映。 ○職員のスキル向上により、機構の組織能力の向上及び出向期間中の能力向上が出向元から評価され、機構への出向機会が有益かつ好循環となるよう人材育成に取り組んだ。 ○女性活躍の環境整備の促進、時差出勤の継続、リフレッシュ Day の定時退社勧奨等を実施し、職員の一人ひとりが働きやすい職場づくりの実現に向けて取り組んだ。